

令和6年度第2回会津若松市廃棄物処理運営審議会 会議要旨

- 1 日時 令和6年8月22日(木) 14時00分～16時00分
- 2 場所 廃棄物対策課管理庁舎 2階大会議室
- 3 出席者 委員9名
事務局 市民部長、副部長、廃棄物対策課員2名

令和6年度第2回会津若松市廃棄物処理運営審議会

(次第)

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 副会長の選任について
 - (2) ごみ緊急事態宣言の取組状況等について
 - (3) 「家庭ごみ処理有料化実施方針（素案）」に係る意見交換
- 3 その他
- 4 閉会

1 開会（進行：事務局員）

2 議事（議長）

- ・ 配付資料の確認
- ・ 委員の半数以上が出席していることから、審議会条例第6条第2項に基づき、会議が成立していることを報告。（委員10名中9名出席）
- ・ 会議は非公開、会議録と資料については原則どおり公開とする。

(1) 副会長の選任について

- ・ 条例第5条第1項に基づき、互選の結果、副会長：新山敦司委員とすることで決定
- ・ 新山敦司副会長からあいさつ

(2) ごみ緊急事態宣言の取組状況等について（資料1）

- ・ 配付資料により、事務局が説明を行い、質疑を行った。
- ・ 質疑応答の内容

【A委員】

タウンミーティングに参加したときに、バナナ1本分の重量のごみを減らすという話があったが、家庭系ごみだけか、それとも事業系ごみも含むのか。市民は、家庭系ごみでバナナ1本分を減らすと受け取っているようだが。

SNS等の広報活動をしているが、7月はごみの重量が増えてしまったとのこと。宣言後は自分自身でも様々な活動をしたが、トーンダウンしていると感じている。SNSでの発信件数も、宣言をしている割に廃棄物に関する投稿が3件と少ない。今、市民の間でキエーロが話題になっているため、キエーロについてSNSに上げていくのはどうか。なかなか身近に感じないため、もう少し発信していくことが必要だと思う。

南会津地域の役場には玄関にキエーロが展示しており、来庁者など非常に多くの人の目に触れる。会津若松市役所にも置いてあるが、公民館等にも置くべきだと思う。他にも、企業など協力してくれるところには玄関に置いてもらい、目に触れる回数や場所を増やしていくことで、取り組んでいるという雰囲気が出てくるのではないかと。一生懸命キエーロを宣伝している割に、広報活動が少ないと思う。関心がない人にも届くように、

市民に幅広くアクションを起こさなければならない。緊急事態の状況や、7月はごみが増えてしまったが全体では減っているということも、SNS等で発信するといいたいと思う。ホームページを見ても、なかなかごみ減量ページに辿り着かないため、インスタグラムやLINE等からホームページに辿り着けるような工夫も必要ではないか。

【事務局】

バナナ1本分150グラムの重量については、家庭ごみにおける減量のことである。

キエーロのPRについてはおっしゃるとおりで、他自治体の職員から、キエーロを役場の前に置いたら住民の反応がよかったという話を聞いた。本市でも北会津支所や河東支所には置いているが、もっと目に付くような場所に置くことを考えていく。

SNSの情報発信については、ごみの減量は同じことを繰り返し発信していくことが効果的だと考えているため、内容が重複したとしても、回数を増やして発信していく。

【A委員】

SNSのインフルエンサーは、同じ情報を繰り返し出している。SNSでは情報が下の方に流れていってしまうため、後から見たいと思っても検索できない。常に前に上がってくるためには、常に発信していくことが必要。また、そのタイミングでしか目に付かないということを見ると、回数を増やすことが重要だと思う。

【議長】

会津若松市のホームページで、有料化に関するページは見やすいと思うか。

【A委員】

タイトルは見やすいと思うが、例えば、審議会で今どのようなことを議論しているか、現状はどうかという情報は、ホームページの深いところにあるため、もう少し浅いところにあるとよい。ホームページのトップ画面に緊急事態宣言が表示されていることから、新たに緊急事態特集ページを作り、リンクから現状や組成調査の結果、審議会で議論していることやキエーロの使い方等を見られるようにしてはどうか。そうすることで、思っているよりも色々なことに取り組んでいるのだと感じると思う。私も資料1を見て、そのように感じた。学習会についても、非常に多くの依頼があり対応が大変だと聞いたが、それだけ盛り上がっている割に、なかなか肌で感じられない。おそらく、関係部局は肌で感じていて大変だと思っているのだろうが、審議会委員でさえ、その温度感が伝わってこない。温度感が伝わるように、市長が実施したこと、スーパー等での啓発活動、市民からの意見などをどんどんホームページで公開し、それをSNSから誘導して見ていただく仕組みを作ることが大切だと思う。

【事務局】

ホームページのトップ画面にバナーがあり、そこから緊急事態宣言中の内容とごみ排出量は見られるようになっているが、取り組みをよりPRできるようにしていく。

【B委員】

これほどたくさん活動していることに驚いた。しかし、その割にはあまり効果がなかったのか、7月に結果が出なくてかなり残念。A委員の意見に賛成する。

確認だが、座談会は毎回どれくらいの時間で開催しているのか。

【事務局】

相手方が希望する時間と場所で開催している。15分のところもあれば、1時間のところもある。

【B委員】

希望に応じてということは、全て同じ内容ではないということか。座談会の情報はどれくらいSNS等に載っているのか。実施の告知はしているのかもしれないが、結果報告についてはどれくらい載せているのか。

【事務局】

結果については掲載していない。先ほどA委員からあったように、PRが大事だと思うため、見える化する方法を考えていく。

【B委員】

遠方にいるなどの理由で行けなかった人や、行きたくても行けない人がいるため、実施内容を適宜載せていけば十分な情報発信になると思う。動画があれば、YouTube等を含めて載せてあるといいと思うが、動画は全然載っていない状況か。

【事務局】

SNSに動画は載っているが、座談会の模様の動画等はない。

【B委員】

そういう情報も含めて載せると結構楽しいと思う。共通のハッシュタグをシェアしてくれたら、シェアの数に応じてポイント付与があるなど、そのように盛り上げていくといいと思った。

もう一点、ごみステーションでの立会いは、燃えるごみの日のみか。どういうごみの日に立っているのか教えてほしい。

【事務局】

基本的に、燃えるごみの日に職員が出向いて説明している。

【B委員】

4ページ下部の不適切な排出の状況については、燃やせるごみの中に古紙が289件混入していたという解釈でよいのか。

【事務局】

はい。

【B委員】

ごみステーションでの立会いについても情報発信してはどうか。

【事務局】

おっしゃるとおりで、市民の方に知っていただくような方策を考えていきたい。

【B委員】

イベントのごみが気になった。イベントではたくさんのごみが出る上に、市民の方がたくさんいらっしゃると思う。啓発するにはいい場所だと思うが、イベントでの啓発やごみを減らす取り組みについては、どういう状況か教えてほしい。

【事務局】

イベントでごみ減量の啓発はしていないが、キエーロについては、9月に会津アピオスペースで開催されるイベントで周囲啓発を行う予定である。また、10月に市が主催する環境フェスタというイベントでは、子ども用品のリユースコーナーと併せて、キエー

口の周知啓発を行う予定である。また、その他にも機会を捉え、できることを探っていきたいと考えている。

【B委員】

ぜひ、ごみ・環境以外のイベントでも情報発信していただければと思う。

ごみ減量ガイドブックの10の掟は、ユニークで非常におもしろいと思っている。ごみ減量隊長のことをもっと前に出して、色々なイベントでPRしていけばいいのではないか。

【C委員】

会津藩公行列にはごみ減量隊長は出ないのか。

【事務局】

ごみ減量隊長は人形でサイズも小さいため、出ないと思う。

【A委員】

例えば、若松つつんがSNSで「ミニサロンを実施して、このように改善した」という情報や、「ごみステーションで古紙が多かった、プラが多かった」などの気付いた点を呼びかけし、そこから宣言中の様々な活動を紹介するのはどうか。

他にも、プラの袋を水で洗っている様子をSNSで流すなど、市が何を行ったかよりも、取り組んでいる市民に焦点を当てて、「こうしたらこんなにごみが減った」という情報発信をしてはどうか。プラごみは倍に増えたが、燃やせるごみは1/3に減った、かさがこれだけ減ったということを目で見てわかるようにするとよい。キエーロの取り組みも、文書ではなく若い方たちが目で見てわかるように、どんどん発信していくとよい。市が何をしたかという難しい話よりも、市民の減量大作戦の事例をどんどん出していく時期ではないだろうか。宣言をして色々な行動を起こしたことで、市民の行動が変わっているということを秋頃から発信していかなければ、ごみの量が7月から減らないと思う。今は「ごみを減らせ、大変なんだ」ということをPRし、秋からは、どうやって減らすかについて、みんなで知恵を集める時期だと思う。今の素晴らしい取り組みを次に生かしていくためには、事例や実践経験を集めて紹介していくことがいいと思う。

【事務局】

若松つつんは観光PRでもX（エックス。旧ツイッター）に出ているため、そのごみバージョンのようなものを検討していく。また、実践されている市民を紹介することや、回数を増やしてPRしていくことも考えていく。

【C委員】

SNSで発信することは時代の流れもあり大変結構だと思うが、例えば、いま審議会にいたる人が全員SNSをやっているとは思わない。SNSやLINEを使っていない人には届かないと思うが、そうした方も少なからずいることを踏まえて、どう考えているのか。

【事務局】

全ての人がデジタルを使えるとは思っていない。なかなか情報に辿り着けない高齢者の単身世帯や、どうしたらいいかわからない方々には、民生委員などを通じながら、全市民的に呼びかけていきたいと思っている。様々なアイデアがあれば、それをいただきながら対応していきたい。

(3) 「家庭ごみ処理有料化実施方針（素案）」に係る意見交換（資料2～資料3-2）

- 配付資料により、事務局が説明を行った。
- 今回は、令和6年9月から11月までの3か月間の集計期間において、燃やせるごみ排出量（トン/日）が、目標値である「令和5年度同期比 12%以上の削減」を達成できな

かった場合に導入するごみ処理有料化の実施方針について意見交換するものであり、あくまで事前準備であることを説明。

- 質疑応答の内容

【B委員】

2章について。環境省や山谷先生も同様の調査をたくさんしているが、それらの調査と会津若松市のごみ有料化都市アンケートはどこがどう違うのかを教えてください。

【事務局】

改めて現在の全国の状況、実態を把握するためにアンケート調査を行う。

【B委員】

同じことを聞くとこも結構あるのか。

【事務局】

重複する部分はあるが、改めて確認をしたいと思っている。

【B委員】

調査内容は会津若松市以外にとっても非常に貴重な情報だと思うため、可能であれば公表してもらいたい。

【事務局】

相手方の自治体が問題ないということであれば、可能な限りオープンデータ化できればと考えている。

【B委員】

ぜひお願いしたい。

アンケート結果は3章の検討材料にするのだろうが、アンケート結果をどう活用するのか。「多くの自治体が入っているから会津若松市もやる」というロジックを組み立てるのか、そうでないロジックを組み立てるのか。例えば、山谷先生は1リットル2円の有料化を提案されているが、1リットル2円の自治体はあまりない。そうした場合、「調査の結果、1リットル2円の自治体はあまりないが、会津若松市では取り入れる」というロジックになってしまうわけだが、どういう価値判断のもとに、アンケート結果を会津若松市に取り入れていくのかについて、方針があれば教えてください。

【事務局】

全体の傾向を掴み、大多数のところを採用するという方法もいいと思うが、そこまでいかなくとも、減量効果があるものであれば採用したいと考えている。また、全国では大多数のものでも、本市に合わない部分は別な視点から検討を進めていく。

今回のアンケートは非常に内容が細かい。一般的なことだけでなく、なぜそうするに至ったのかという経過や、有料化の対応や反応についても聞く。そのため、一つの項目だけではなく、様々な要素を合わせながら、その内容が本市にとって乖離するものなのか、目指す方向性が同じなのかを総合的に判断していく。

【B委員】

有料化を取り入れる際、住民にどう説明するのが非常に重要になると思うが、今の話だと、住民にどう説明するかについてはアンケートであまり聞いていないように聞こえるが、いかがか。

【事務局】

アンケートの中で、有料化導入の際にどのような住民説明を行ったかという項目が一つある。

【B委員】

2章にはその内容があまり出ていなかったため、取り入れてもいいと思う。

2章については以上で、会津若松市の内容については概ね異論はなく、全体の方針については、山谷先生が前回提案されていた話を具現化されているという印象がある。

ただ、33ページの併用施策の1段落目がよくわからなかった。「不適正排出が是正されにくくなる」とは、どういう意味か。

【事務局】

有料化導入当初は、有料化されたことを知らずに指定袋以外の袋で出し続ける方がいる可能性がある。そうすると不適正排出が是正されにくくなるため、指定袋を全戸配布し、このごみ袋を4月から使うということを周知することで、可能な限り町内会の負担を減らそうと考えている。

【B委員】

やはり不適正排出のところがわかりにくい。

【事務局】

表現を検討する。

【B委員】

お願いします。

ボランティア清掃ごみの袋について提案がある。ボランティア清掃ごみは無料で回収するということだが、他市のごみ拾いイベントに参加したときの事例でいうと、袋は大きい割にごみをちょっとしか入れないため、開けにくいし拾いにくい、バケツで回収すると拾いやすかった。福島市では、廃校になった学校にたくさんのバケツがあり、そのバケツを市で貸し出してボランティア清掃時に使用している。そうすると、袋を全く使わなくて済むし、拾いやすい。ボランティア清掃ごみの袋を無料にするのはどうか。代替りの方法を考えた方がいいのではないか。

【事務局】

福島市の事例については当方でも調査し、ごみ袋に代えられるものがあれば使ってみたいと考えている。

【B委員】

福島市の副市長も関わっているため、ぜひ聞いてみてもらいたい。

【事務局】

はい。

【A委員】

全体的にわかりやすくまとめられていて、これまでの議論が反映されていると思う。しかし、わかりにくい表現が多くある。

26ページの手数料の体系では、単純従量制を採用するとの記載があるが、非常にわかりにくい。例えば、「単純従量制を採用します。単純従量制とは、排出量に応じた手数料を負担する方法で、袋の従量によって負担をお願いすることとなります」という書き

方だとわかるが、この文言だけではわかりにくく、その下の理由につながりにくい。わかりやすい表現にして、意見が出しやすくなるようにしてほしい。

29 ページの受益者負担率もわかりにくい。

そこよりもっとわかりにくいのは、32 ページの排出者責任の部分。排出者責任とは何だろうか。不法投棄や間違った出し方を無くすために排出者に名前を書いてもらい、責任をもって出してもらおうという意味だとは思いますが、こういう意味が最初にぱっとわかるようにしなければ難しい。

33 ページの手数料の用途についても、「有料化による経費を抜いた分が収入になるが、収入は市のお金ではなく、ごみ減量や地球温暖化対策や衛生問題に使います」と書いてあればわかる。また、手数料収入についても、「有料化によって袋の購入等で入る手数料」というように、意味がわかるようにしなければならない。ごみ有料化による手数料収入、有料化制度運営経費という文言を見ても、運営経費とは何かはわかりにくい。丁寧にわかりやすくしなければ難しい。

差引額の用途については、差引額ではなく、「手数料収入から袋代の経費を抜いた分のお金を循環型社会の形成等に使います。使い方の事例は以下のとおりです」という書き方をすればわかりやすいが、この文言を見ただけでは非常にわかりにくい。

併用施策というのもわかりにくい。「ごみ有料化を進めるにあたり、有料化をスムーズに進めるために、市として対策や施策を行うということで、指定袋を全戸配布する」とすればわかりやすい。前半の文章はわかりやすいが、後半部分は、ぱっと見でわかるようにしてほしい。言っていることはわかるが、一般の市民にわかってもらわないと意味がないと思う。よりわかりやすい表現や、ぱっと見で言っていることがわかるような追記をお願いしたい。

【事務局】

いわゆる役所言葉が多く、荒削りの段階である。誰が見てもわかるような表現を心がけ、修正していく。

【C委員】

単純従量制の定義については12ページの表に書いてあるが、読んでも記憶に残らないため、後ろのページでこの言葉の意味は何だろうとなる。ただ、いちいちそこに定義を書くとページ数が増えるだろうなと思って聞いていた。

【事務局】

改めて記載することとし、なるべく皆様にわかっていただけるような作りに変えていく。

【D委員】

構成について。民間では、資料をできるだけコンパクト化する傾向がある中で、役所の資料は旧態依然の姿だと感じた。市民が一番知りたいのは、市としてどうするのかというところ。素案でいうと3章。最初から読んでいくとそこに辿り着くのも大変。そのため、極端に言えば、3章だけでいいのではないかと思う。1、2章は資料編の中に入れてもいいと思う。今後パブリックコメントでより多くの市民に意見を求めるときに、このままの構成ではあまり意見が出ないと思う。

確認だが、パブコメを行う際に、この方針案の概要版を作成する考えはあるのか。通常、こういう方針を作った後には概要版ができると思うが、パブコメのときにも概要版はあるのか。

次に、文言で気になった点について。3ページの目的と期待する効果のところで、「住民税のみを財源としてごみ処理を実施する場合は」という文言があるが、住民税とは一般的に市町村民税であり、会津若松市でいうところの市民税。これは一般財源であ

るため、「住民税のみを財源として」という表現は間違っていると思う。従って、ここは、「市における一般財源のみでごみ処理を実施する」という文言になると思う。

【事務局】

他の自治体の有料化実施方針に比べてページ数が多いため、ご指摘のとおり資料編に入れるなど、読みやすい形にしていきたい。表現についても、事実確認をしながら再度検証する。

パブコメはごみ減量期間中に行うことから、有料化が決まったと誤解させないようにする必要があるので、概要版を作成し誤解のないよう周知するとともに、内容についてもコンパクト化していく。

【E委員】

有料化した後の不法投棄について、他の自治体ではどのような状況か。

【事務局】

不法投棄や不適正排出は一時的に増える傾向にあるようだが、しっかり対策をとれば、約1年以内に元に戻るという結果が出ている。町内会に迷惑をかけないように十分配慮していきたい。

【B委員】

1章の目的と効果のところと、何のために有料化するのかということが非常に大切。3章だけでは導入目的の内容が薄いため、しっかりさせなければならぬと思う。

山谷先生は、有料化は意識改革だと強調していたが、その意識改革について2章以降ではあまり書かれていない。むしろ、どのような仕組みにするのかに主眼がいており、3章では少ししか出てきていないため、構成を考え直した方がいいと思う。単に1、2章を資料編にすればいいものでもない。

3章は誤植も多いため精査してほしい。また、687円の費用負担の増加が強調されてしまうような書き方になっており、その効果がいまいわからない。自分が687円を負担することで、何がかわるのがわからないため、一般的に期待される効果だけではなく、会津若松市で期待される効果、会津若松市で導入する目的をきちんと書き込んだ方がいいのではないか。

【事務局】

ご指摘のとおり、目的と効果は根幹に関わることであるため、十分わかりやすい表現にしていく。また、負担の部分はイメージが掴みにくいと思うため、例えば、ごみ袋を1週間に2枚使う人はこれくらい負担が増える、こうすればこのくらいの負担で済むなど、生活に即したような書き方を検討していく。

【B委員】

ぜひ、その方向でお願いしたい。また、そういう部分は資料編として数字をきちんと残した方がいいと思うので、ぱっと見わかるようにしていただきたい。有料化は単なる値上げでなく、値上げした分は、実は自分たちに返ってきているとわかるように説明することが、住民の合意を得るために非常に重要だと思う。自分が払った687円は自分はどう返ってくるのかを、もっと見えるように説明した方がいいと思う。

【事務局】

山谷先生の論文でも、自分が払ったお金がどう還元されているのか、巡り巡って自分に利益があるということを見せることが大事だという内容であったため、手数料の使途の部分でアピールしていく。

【B委員】

目指すべき本市の姿をきちんと書き、単なる値上げではないということをしっかり書き込んだ方がいいと思う。

【事務局】

参考にさせていただく。

【C委員】

前回の審議会で山谷先生が意識改革について強調されていたため、アンケートをとる際に意識改革に関することを尋ねる自治体は多いのかと質問をしたら、あまりしていないとの回答があった。今回のアンケートには、質問項目として入れる考えはあるのか。また、アンケートの質問内容は事前に審議会で見られるのか。

【事務局】

アンケートは今週中に依頼する予定だが、事前に委員の皆様にはデータをお送りし、1日程度でご意見をいただけるならば対応できる。

【C委員】

どういう仮説でどのような質問をして、それで出てきた回答をどう活用するのかを聞きたい。意見を言うか言わないかは別として、アンケートを事前に見られるのか。山谷先生が、行政のアンケートでは意識改革についてあまり聞いていないと言っていたのでお尋ねした。

【事務局】

本日中に委員の皆様にはデータを送るので、明日の夕方までに回答をいただければと思う。

【B委員】

明日の夕方に意見しても、改訂できないですよ。

【事務局】

午前中などの早い時間に意見をいただければ改訂できる。大きな修正でなければ対応できるため、データはお送りさせていただく。

【C委員】

東京都多摩市ではおむつは無料のようだが、有料袋で出すべきごみを、おむつと称して無料袋で出す人について想定はしているか。

【事務局】

奥多摩では基本的に戸別収集しており、家の前に置く方式のため排出者が誰かわかる。しかし、本市の場合は戸別収集が難しいため、C委員がおっしゃるような懸念はある。明らかにおむつでないものは収集しないようにするしかない。庁内でもそうした懸念が出ているので、検討していく。

【議長】

皆さんひとり一言ずつお願いします。

【A委員】

目的をわかりやすくしてもらいたい。ごみに関心を持ってもらうためにやるということ、自分事としてごみの減量につなげるということ、それが財政的にも自分のメリット

になるということ、ごみの減量が市民の暮らしにとって大事なことということ、将来の子どもたちにもメリットがあるということを知りやすい表現にしてほしい。

【F委員】

B委員から、ごみ・環境以外のイベントでも情報発信していただければという提案があったが、イベントで若松つつんの着ぐるみを着た方がごみ減量の啓発をすれば、子どもたちも喜んで集まってきてくれるのではないかと思う。

【E委員】

一番危惧しているのは不法投棄である。指定袋以外で出されると処分が大変。それが有料化となるともっと増えるのではないか。不法投棄の処理は誰がするのか。

【事務局】

それについても今後検討する。しばらく放置して、出した人が気付くまで待つという方法もあるが、燃やせるごみだとそうもいかないため、対応を考えていく。

【G委員】

資料1について。宣言が出てから、市長等の話を聞いたが、数字は変わっていない。講習会にも参加したが、結局聞くだけで身にならないため、アンケートをとったり、こういう意見があったということを実績に入れてはどうかと思った。

また、有料化すると勝手にごみを捨てられてしまうのではないかという懸念がある。

【H委員】

不法投棄とキエーロについて家族と話した。家族が、庭に生ごみを捨てたら虫がすごいと言っていたため、キエーロを勧めた。また、農業者の方が、自分の家の畑に箱等を設置して生ごみを埋めると、クマやイノシシ等が掘ってしまうから燃やせるごみで出すしかないと言っていた。みんなにキエーロを使ってもらえればいいと思うが、ただ畑に捨てるだけではなかなか解決できないため、キエーロの使い方や、堆肥化して畑に戻す方法を教えることを徹底してもらいたい。

【I委員】

わかりやすい資料だと思うが、表現については修正が必要だと感じている。

他の委員が、手数料の使途や目的と効果のところで、住民が得られる利益は何なのかをきちんと明示してほしい、と言っているように聞こえたが、個人的には、有料化は「ショック」だと思う。こういうショックが市民に与えられなければ、減量化は進まないと思う。理解してもらうことはとても大切だが、ショックという部分では、どのように市民に伝えていくかがとても大事だと思う。

【B委員】

ショックを与えた方がいいという意見もあるなと思う一方で、丁寧な説明が必要だとも思っている。今の角が取れていない実施方針でパブコメをしても、住民の方はあまり理解できないのではないかと、それで不法投棄が起きるのではないかと。どのように丁寧な説明をしていくかについて、よく考えた方がいいのではないかと。

今はミニサロンで緊急事態宣言について説明しているようだが、10月以降も、家庭ごみ有料化実施方針について意見を伺うような場を頻繁に開催し、その上で12月を迎えた方がいいと思う。パブコメのみで終わりではなく、有料化について市としてはどう考えているのかを、座談会やミニサロン、相談会等を開催して説明した方がいいと思った。そうでなければ有料化が何なのか分からない、何なのか分からないとショックかどうかも分からないと思う。ミニサロンや、市長がタウンミーティング等で有料化実施時方

針について話し合うような、市民の意見を伺うような機会を、パブコメと並行して実施していった方がいいのではないかと思う。

【事務局】

タウンミーティングは、パブコメ期間中にもう一度開催する予定。また、有料化については、座談会等の場で触れざるを得ないと思う。そのため、機会を捉えて説明したいと考えている。

【B委員】

集まりに呼ばれるもの、自ら行くものも含めて、しっかり話し合いをしていく必要があると思う。

【C委員】

SNS か YouTube で説明している動画を用意しているか。

【事務局】

情報を外部に出す段階で用意したいと思う。

【D委員】

自分が審議会委員ということもあり、宣言以降は徹底的に分別をしていて、燃やせるごみの排出量が少なくなったと実感している。

生ごみは以前からコンポスト処理をしており、特に雑紙はどんな小さなものでも分別をしている。残念ながら、雑紙と書いて出す人はまだまだ多くない。そのため、その辺のPRも必要だろう。

プラについては、小学生向けの教材「会津若松市のごみ」の4ページ下部に活用方法が記載されているが、プランターや物流パレット、オイルやガスとして活用する際には、徹底的にきれいにしなければ活用できないというイメージがある。しかし、工場の火力発電への活用であれば、それほどきれいにしなくても活用できるのではないかと思う。きれいに洗うなどのひと手間をかけなくてはならないから、なかなか分別が進まないのだろう。工場の火力発電への活用であれば、そんなに苦労しなくても分別できると思うため、そういうこと教えたり、PRしたりしてはいかがかと思った。

【事務局】

様々なご意見ありがとうございました。実施方針（素案）は、大きな方向性を示したものであり、皆様からは構成や方向性等の大きな部分でご意見をいただきたいと思っていた。今回は細かい部分もご意見をいただけてよかったと思っている。ご指摘いただいた部分を修正して、パブコメ、諮問、答申という流れで進めていくので、ご理解いただければと思う。今後ともよろしく願いいたします。

3 その他

- ・ 特になし

4 閉会（事務局）